



2021 RACE REPORT

スーパー耐久シリーズ 2021 Powered by Hankook

第5戦 鈴鹿S耐 (5時間レース)

#52 埼玉トヨペット GB クラウン RS

2021年9月18日(土) ~ 9月19日(日)

鈴鹿サーキット (三重県鈴鹿市)

■ ■ ■ ■ エンジンの不調に苦しみ5位チェッカー ■ ■ ■ ■

ST-3クラスのエントリー台数は6台。予選日(土曜日)の天候は曇です。前日からの台風14号の接近に伴い、午前中の予定はすべてキャンセルに。お昼からタイムスケジュールが始まり、予選は14時から。路面はほぼ乾いていますが、木曜日に発生したクラッシュと雨の影響により、走り込みが不足している状況。予選(20分間)はBドライバーから行われ、吉田選手が残り10分でコースイン。最初のアタックで2分18秒692をマークします。吉田選手は続けてアタックを行いますが、惜しくも更新できず。3位で予選を終えました。続いてAドライバーの予選が行われ、服部選手も残り10分でコースイン。ポールポジションを狙ってアタックを行うものの、タイムは2分19秒625(4位)。両ドライバーの合算タイムにより、予選4位となりました。Cドライバー、川合選手は決勝を見据えたシミュレーション走行を行い5位。スタッフの努力により、クラッシュした箇所も問題なく修復されており、トップとのタイム差も短縮。とはいえ、ドライバーは依然として乗りづらいとコメントしており、予選後も調整が行われました。

決勝日の天候は晴。チームはスタートドライバーに吉田選手を起用。1回のスティントを75分とし、ドライバー交代義務(3回)のピットインだけで、最後まで走り切る作戦です。11時35分、5時間レースがスタート。吉田選手は#244フェアレディZにインを奪われ、5位で1コーナーに進入します。さらに#15フェアレディZにも抜かれ、6位でオープニングラップを終了。5周目に#15フェアレディZを抜き返しますが、走り出し当初からのパフォーマンス不足は改善しておらず、7周目に再び6位となります。その後、#41RC350を追いかける展開となりますが、スタートから1時間経過した頃、吉田選手からエンジン不調を訴える無線が入ります。チームと交信しながら、なんとか状況を改善しようと試みる吉田選手ですが、状況は変わりません。32周目、最初のピットインを行い、服部選手に交代。#41RC350にペナルティが課されたため、5位に上がりますが、エンジンの状態はさらに悪化。チームはリタイヤを含めたさまざまな検討の末、経験豊富な服部選手と吉田選手にクルマを託し、16時半のチェッカーを目指すことに。川合選手はピットで2人のサポートに徹します。63周目から吉田選手、さらに94周目から服部選手が早め早めのギアチェンジでエンジンをいたわり、5位で



チェッカー。最後の1周はエンジンが危機的な状況になり、コントロールライン直前でスローダウン。総合1位のクルマを先行させ、周回数を減らしてチェッカーを受ける異例の作戦をとりました。何が何でも完走するという、チームの意地を感じた瞬間です。なお、3回のピットインの際、店舗メカニックはノーミスで3回のタイヤ交換と給油を実施。鍛えられたチーム力の高さを見せつけました。次戦、岡山は今シーズンの最終戦。シリーズチャンピオンは#39RC350が獲得しましたが、ランキング2位の可能性は十分あります。Green Braveの有終の美に期待です。

決勝結果 (ST-3クラス)

#52 埼玉トヨペット Green Brave クラウン RS
(服部尚貴 / 吉田広樹 / 川合孝汰)
決勝：5位 (121周、5時間01分42秒399)
予選：4位 (合算タイム4分38秒317)



DRIVERS VOICE

【服部尚貴選手】

守りに徹するしかなかったですね。S耐はチェッカー受けてなんぼで、1周前までトップを走っていても、そこでリタイアしたらポイントはゼロ。そういう意味では苦しいレースで、いつ止まってしまうかわからないドキドキのレースでしたが、間一髪でチェッカーを受けることができました。悔しいレースになってしまいましたが、最低限、ポイントをとることができました。最終戦、ランキングはきつくなってしまうりましたが、勝つつもりでいきたいと思います。

【吉田広樹選手】

本当にエンジンのトラブルかどうかはわからないので、原因はチームに確認してもらえたらと思います。木曜日のドライの時、あまり走れないまま、ぶつかってしまったので、昨日の予選や今日のウォームアップだけではロングのバランスがどうなのか、あまりわかりませんでした。決勝で乗ってみて、乗りやすいとは言いきれないバランスだったので、仕方ないと思います。レースの途中から、正直まわりについていけない感じではなく、チームと話をし、ポイントをしっかりと、クルマをチェッカーまで運ぶことにシフト。クルマを壊さないために何ができるか、そこだけにコミュニケーションしながら走りました。耐久レースだけに仕方ないと思います。

【川合孝汰選手】

自分もいつでもいけるように準備をしていましたが、クルマにトラブルがあったので、難しい状況でした。服部さんと吉田さんのマネージメントしながらの走りは勉強になりました。今シーズン、チャンピオンの可能性はなくなってしまいましたが、まだ優勝できていないので、今年の集大成として、勝って笑顔で終わりたいです。

MECHANIC VOICE

【北越谷支店・西村和起】

S耐に参加するのは2回目で、1回目の時はホイールガンでした。今回の担当はサインボード。5時間、集中力を切らさないようにするのが大変でしたが、何より最後まで走り切り、チェッカーをうけることができたので、良かったと思います。ここまでのシビアさ、緊張感はレースでしか味わえません。今回の貴重な経験を後輩に伝えていきたいです。

ST-3 クラス決勝結果

順位	車名(車両)	周回数
1位	:エアバスター Winmax RC350 TWS(レクサス RC350)	123周
2位	:HELM MOTORSPORTS RC350(レクサス RC350)	123周
3位	:QUEEN EYES 34Z(日産 フェアレディZ)	123周
4位	:岡部自動車レカロZルーニススポーツ(日産 フェアレディZ)	122周
5位	:埼玉トヨペット GB クラウン RS(トヨタ クラウン)	121周
6位	:エアバスター 55Garage RC350 TWS(レクサス RC350)	119周

出走 6台

ST-3 クラスポイントランキング

順位	ゼッケン	チーム名	ポイント
1位	39	TRACY SPORTS with デルタ	119.5
2位	244	Max Racing	99
3位	62	HELM MOTORSPORTS	93.5
4位	52	埼玉トヨペット Green Brave	87.5
5位	15	OKABEJIDOSHA motorsport	77
6位	41	TRACY SPORTS with デルタ	74

PARTNERS



赤城車体工業株式会社



アルパインマーケティング株式会社



EMG ルブリカンツ合同会社



株式会社エヌ・ティ・コーポレーション



株式会社 FM NACK5



大宮クリーン社・大進カーエアコン



株式会社岡崎巧芸



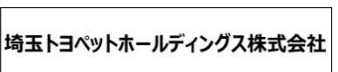
株式会社カーグラス・J P



株式会社クールホールディングス



埼玉スリーボンド株式会社



埼玉トヨペットホールディングス株式会社



株式会社三和広告社



JU 埼玉オートオークション株式会社



株式会社テレビ埼玉



株式会社デンソーソリューション



株式会社トイファクトリー

インターナショナル



株式会社ドーム



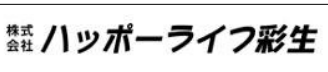
トヨタモビリティパーツ株式会社



トヨタホーム東京株式会社



株式会社トヨタレンタリース新埼玉



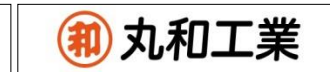
株式会社ハッピーライフ彩生



株式会社プロモーション



株式会社プロモーション



丸和工業株式会社